

出生時育児休業給付

～出生時育児休業期間を対象とする賃金額～

※※月給制の場合、「支払われた賃金額」について以下の計算が必要になります※※

※4

$$\begin{array}{c} \text{休業がなければ} \\ \text{支払われた賃金額} \\ \text{※1} \end{array} \times \frac{\begin{array}{c} \text{出生時育児} \\ \text{休業取得日数} \\ \text{※2} \end{array}}{\begin{array}{c} \text{休業中の} \\ \text{賃金計算期間} \\ \text{※3} \end{array}} - \begin{array}{c} \text{欠勤控除額} \end{array}$$

- ※1 基本給などの欠勤控除額の計算に用いる賃金です。（残業代などの欠勤控除計算に用いない賃金は含みません。）
- ※2 公休日を含む暦日数。
（例 公休日：土・日、出生時休業：10/12（金）～10/15（月）の場合の出生時育児休業取得日数は4日間）
- ※3 公休日を含む暦日数。
- ※4 最終計算結果がマイナスになった場合は、賃金額は0円と記載してください。

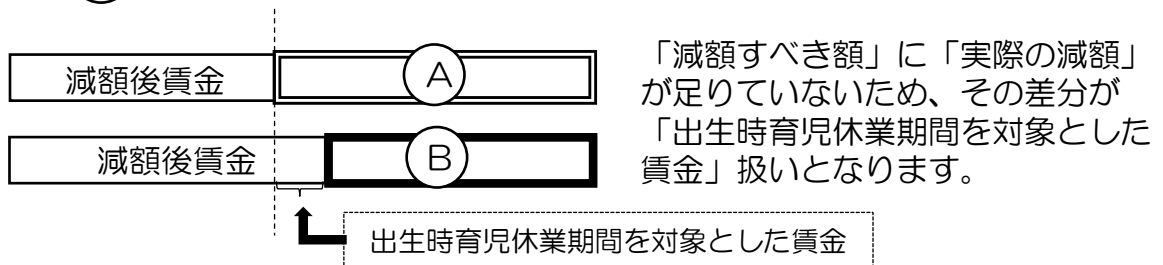
A
休業がなければ支払われた賃金を暦日数で比例配分した
「減額すべき額」

と

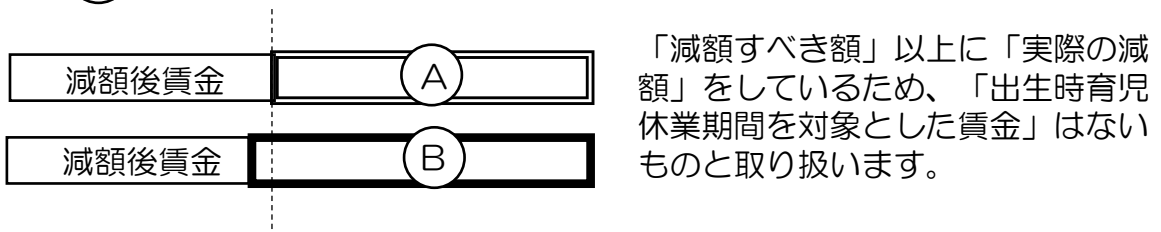
B
会社規定の計算による
「実際の減額」

を比較するイメージです

A > **B** の場合



A < **B** の場合



裏面に計算例あり

具体例①

- 出生時育児休業取得期間：R6.10.12～R6.10.21（10日間）
- 賃金台帳は右記の通り
（欠勤控除の計算に用いる賃金は①～③）

- 計算

$$(30万+5万+3万) \times \frac{10日間}{31日間} - 12万$$

$$= 2,580 \text{（小数点以下切り捨て）}$$

申請書に記載する賃金額：2,580円

賃金台帳

氏名	兵庫 太郎
賃金計算期間	R6.10.1～R6.10.31
①基本給	30万
②住居手当	5万
③家族手当	3万
④残業代	1万
⑤欠勤控除	12万

具体例②

- 出生時育児休業取得期間：R6.10.21～R6.11.3（14日間）
- 賃金台帳は右記の通り
（欠勤控除の計算に用いる賃金は①～③）

- 計算

$$\text{a.10月分} \quad (30万+5万+3万) \times \frac{11日間}{31日間} - 13万$$

$$= 4,838.71 \text{（小数点第三位を四捨五入）}$$

$$\text{b.11月分} \quad (30万+5万+3万) \times \frac{3日間}{30日間} - 3万$$

$$= 8,000.00 \text{（小数点第三位を四捨五入）}$$

- c.合計

$$(4,838.71 + 8,000.00) = 12,838 \text{（小数点以下切り捨て）}$$

申請書に記載する賃金額：12,838円

賃金台帳

氏名	兵庫太郎	兵庫太郎
賃金計算期間	R6.10.1～R6.10.31	R6.11.1～R6.11.30
①基本給	30万	30万
②住居手当	5万	5万
③家族手当	3万	3万
④残業代	1万	2万
⑤欠勤控除	13万	3万